

2015

9/26[土]→11/8[日] 入場無料

会場：ハリス理化学館同志社ギャラリー2階企画展示室

開館時間：10:00-17:00

閉館日：月曜日・祝日

和歌山県笠島遺跡調査時の酒詰仲男氏



没後  
50年

# 酒詰仲男

# 縄文貝塚研究と



同志社大学在職時の  
酒詰仲男氏

### 公開講演会

「縄文貝塚研究と酒詰仲男」

2015年10月11日(日) 13:30~16:30  
同志社大学今出川校地明徳館1 番教室

事前申込不要  
入場無料

### 講師：

白石太一郎氏(大阪府立近つ飛鳥博物館館長)  
「酒詰仲男先生と初期同志社考古学の群像」

羽生淳子氏(総合地球環境学研究所教授)  
「縄文生態研究と酒詰仲男」

酒詰治男氏(甲南女子大学名誉教授)  
「〈同志社文学〉から〈貝塚〉へ」

主催：同志社大学歴史資料館

お問合せ先：同志社大学歴史資料館 0774-65-7255  
同志社ギャラリー事務室 075-251-2716

同志社大学今出川校地

ハリス理化学館同志社ギャラリー2階企画展示室  
(京都市営地下鉄今出川駅下車東へ徒歩3分)



# 縄文貝塚研究と酒詰仲男

没後50年

酒詰氏による  
動物骨観察メモ

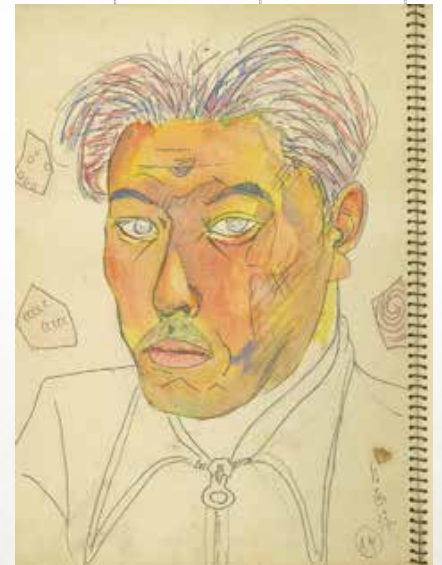


縄文土偶

## ハリス理化学館同志社ギャラリー第7回企画展 「縄文貝塚研究と酒詰仲男～没後50年～」

同志社大学文学部教授で、本学博物館講座開設者であった酒詰仲男氏は、縄文時代貝塚の研究者として著名である。特に、『日本貝塚地名表』(1959)・『日本縄文石器時代食料総説』(1961)は、断片的であった貝塚研究を総合的にまとめた初の成果として、以後の研究の礎となっている。現在、貝塚における先史時代の食糧研究により、縄文文化は、地球環境と人類文化の生態的共存関係の一類型として注目されている。そのユニークさで世界的に知られるJomon Cultureへの基礎的貢献として、本学における酒詰氏の研究は重要であった。

さらに酒詰氏は、本学在職時に縄文貝塚以外にも様々な遺跡の調査研究に携わり、多くの後進を育てた。また、西日本の私立大学でいち早く博物館学芸員課程を設置したことでも知られる。展示を通して、そのような同志社大学における酒詰氏の足跡を幅広い視野からたどりたい。



酒詰仲男氏自画像



縄文貝塚をめぐる酒詰氏的主要著作



## 同志社大学今出川校地

ハリス理化学館同志社ギャラリー2階企画展示室  
(京都市営地下鉄今出川駅下車東へ徒歩3分)